

特定非営利活動法人アジアキリスト教教育基金

2025年度第36回通常総会議事録

- 1 開催日時 : 2025年5月25日(日) 15時30分～17時20分
- 2 開催場所 : 友の家(東京都豊島区西池袋)
- 3 社員会員総数 : 62名
- 4 出席者数 : 45名(うち会場出席12名、オンライン出席8名、書面表決18名、委任状7名)
- 5 審議事項
 - 第1号議案 2024年度事業報告および決算の件
 - 第2号議案 2025年度事業計画および予算の件
 - 第3号議案 役員(理事・監事)選任の件
 - 第4号議案 評議員選任の件
 - 第5号議案 議事録署名人選任の件

6 定数の確認

柳原さつき事務局長より本日の社員総会は、社員会員の会場出席12名、オンライン出席者8名、書面表決書参加者18名、委任状参加者7名の計45名の出席者により、定款第29条に定める社員会員総数の2分の1以上の定足数を満たしており、有効に成立している旨の報告があった。また本日の会議は会場である東京都西池袋の友の家と各所からのオンライン参加を併用する形での開催となるが、オンライン会議システムにより、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる仕組みとなっている旨が説明された。次いで荒谷出理事長が開会挨拶を行った。

7 議長選任の経過

柳原事務局長より、本総会議長の選任にあたり、自薦他薦の方がいなければ荒谷出理事長を推薦したい旨議場に諮られ、結果、満場異議なく荒谷出理事長が議長に選任された。続いて荒谷議長が本総会を開会する旨を宣言し、直ちに議案の審議に入った。

8 議事経過の概要及び議決の結果

第1号議案 2024年度事業報告および決算の件

別紙資料に基づき、柳原事務局長より2024年度事業報告について、また天野海走財務委員長より2024年度の決算に関する要点の説明がなされた。柳原事務局長からは資料11頁の役員一覧について、一期前のリストが掲載されていることについて、修正の申し出があった。また説明の後に、桃井明男監事・大江浩監事から監査報告書に基づき、監査の

結果、法人の業務執行及び会計処理並びに財産の状況は適切であり、特段問題は認められなかった旨報告された。

説明後の質疑応答は、以下の通りである。（⇒以下は回答）

- ・送金した額が750万とのことだが、BDP30校を維持する資金はどれくらいか。

⇒明確に出ていないため、BDPに昨年度の送金の使い道の確認を要請中。本日報告したかったが、現在も確認作業中と確認している。多くは先生、スタッフの人件費と見込んでいる。

- ・ダッカの事務局スタッフの給料を聞き、標準以上だと感じた。先生たちの給料は把握しているか。

⇒先生、スタッフの給料は把握している。先生の給料は高くても2800タカで公立の水準の10分の1。BDP事務局スタッフについては日本でバングラデシュを支援する他2団体にも確認したところ、ヘモント事務局長の給料については、いずれの団体からも妥当か少し低い程度であるとの回答があり、妥当だと考えている。

- ・送金額のほとんどが人件費ということだが、計算は合うか。

⇒合う。足りない分はBDPの理事長や元事務局長家族に借金して賄っていると聞いている。

- ・学校の運営には送金額の何パーセントが使われているか。

⇒毎年外部監査があり、数字が上がってきているが、すぐ確認ができないため、後日お伝えする。

- ・授業料は現在も取っていないのか。

⇒基本的には取っていない。コミュニティに余裕がある場合は出してもらうこともあると聞いている。

第1号議案について質疑が出尽くしたところで議長が採決をとり、出席社員会員の満場一致で原案通り可決、承認された。

第2号議案 2025年度事業計画および予算の件

別紙資料に基づき、柳原事務局長より2025年度事業計画について、また天野財務委員長より2025年度予算について、それぞれ要点の説明がなされた。

説明後の質疑応答は、以下の通りである。（⇒以下は回答）

- ・17頁の総費用が昨年と比べ減っている。その内訳は。

⇒重点的に減らした項目は人件費の割合に関わるため、現時点では具体的に申し上げられないが、資金調達アドバイス、学習改善でBDPが自立に近づくのではないかとという期待が含まれている。マイクロファイナンスについては現地が活動しているグループに上乘せされて上がっていることもあり、援助はあまり必要ないの見込んでいる。職業訓練についても1箇所2コースとなったため、支援予定額を減らしている。

- ・バングラデシュの初等教育支援の事業費予算は500万円と先ほどの説明では聞いたが、資料では800万になっている。その理由は何か。

⇒獲得が想定される助成金を上乘せしている。

- ・スタディツアーの企画について、社会人と学生は分けて企画しているのか。昔は世代を超えたツアーで、互いに大いに刺激になった。一緒に行くことも検討してほしい。

⇒コロナ渦で行けなかった時期があり、コロナ明けに再開した際の少人数での催行が定着している。学生の申し込みだけで8月のツアーがすぐ埋まる。

第2号議案について質疑が出尽くしたところで議長が採決をとり、出席社員会員全員一致にて原案通り可決、承認された。

第3号議案 役員（理事・監事）選任の件

議長より、定款16条に基づく役員改選に伴う次期理事・監事候補者及び退任ないし変更となる理事について、以下の提案がなされた。

任期：2025年5月25日より2027年5月の総会終結の時までの2年間

【次期理事候補者】11名

（再任） 荒谷出氏、野村正宣氏、天野海走氏、井上儀子氏、佐野正子氏、野田沢氏、ジェフリー・メンセンディーク氏、森和博氏、柳原さつき氏（事務局長）

（新任） 小田理一郎氏（評議員から理事へ変更）、河見誠氏

【次期監事候補者】2名

（再任） 桃井明男氏、大江浩氏

【今回で退任する理事】3名

大野由里子氏、小野道子氏、西村幹子氏

提案後の質疑応答は、以下の通りである。（⇒以下は回答）

ジェンダーバランスや年齢の豊かさの考慮は、候補者のメンバーについてのことか。それとも選考委員会のメンバーについてのことか。年齢を考慮に入れるのであれば、理事にもっと若い方に入っていただく選択肢もあったのではないかと。

⇒現状を踏まえ、理事候補のジェンダーバランスが崩れるが評議員で補うように考慮をした。年齢幅の考慮については、評議員に山田明日見さんに入っていただくことでバランスをとった。ジェンダーバランスや年齢幅の条件を満たすために今一番ACEFが必要としているところを削るというわけにはいかないということで、このような判断となった。

尚、社員会員1名より出席者に聞いて欲しいことがある旨発言あり。（発言内容は本議案とは直接関係ないため省略）

第3号議案について質疑が出尽くしたところで議長が採決をとり、出席社員会員全員一致にて原案通り可決、承認された。その後、別室にて行われた臨時理事会にて、理事長に荒谷出氏、副理事長に野村正宣氏が選出されたことが報告された。再任あるいは新任された理事及び監事の全員からそれぞれ、再任の場合はあらためて、また新任の場合は新たに、本総会終結の時点で理事及び監事に就任することに承諾する旨が表明された。

第4号議案 評議員選任の件

議長より、定款22条の基づく役員改選に伴う次期評議員候補者並びに退任する評議員について以下の提案がなされた。

任期：2025年5月25日より2027年5月の総会終結の時までの2年間

【次期評議員候補者】18名

(再任) 安部由紀子氏、上野峻一氏、小田哲郎氏、岸ひかり氏、古賀博氏、佐藤飛文氏、関口弘美氏、高橋満氏、塚本潤一氏、都築昌子氏、徳田有希子氏、松本周氏、本間智子氏、山口旬氏

(新任) 長尾有起氏、福嶋祐子氏、菅原陽子氏、山田明日見氏

協議の結果、議長が議場に諮ったところ、第4号議案は満場意義なく承認された。

再任あるいは新任された評議員の全員からそれぞれ、再任の場合はあらためてまた新任の場合は新たに、本総会終結の時点で評議員に就任することに承諾する旨が表明された。

第5号議案 議事録署名人選任の件

議長より、議事録署名人を選任するにあたり立候補を募ったところ、立候補者がいなかったため、議長が出席者の中から花島光男氏及び山内章子氏を推薦し、参加者へ採決を行ったところ、満場異議なく承認された。

9 報告事項

- ・次回理事会について 7月20日（日）16：00から開催

議長は、以上をもって総会の議事は終了し、17時20分に閉会を宣し、解散した。

なお、オンライン会議システムにより出席者の音声が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に、適時、的確な意見表明が互いにできる状態にあり、終始異状なく進行した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2025年 5月 25日

特定非営利活動法人 アジアキリスト教教育基金 第36回通常総会

議 長 荒谷 出



議事録署名人 花島 光男



議事録署名人 山内 章子

